



2022年11月9日

各位

会社名 日産自動車株式会社  
代表者名 代表執行役社長兼最高経営責任者 内田 誠  
(コード番号:7201 東証プライム市場)  
問合せ先 IR部 主担 稲垣 範行  
(TEL 045-523-5523)

## 業績予想の修正、剰余金配当(中間配当)見送り及び年間配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年5月12日に公表しました2023年3月期の通期業績予想を下記のとおり修正いたしました。

また、2022年9月30日を基準日とする剰余金配当(中間配当)を見送ることを決定し、それに伴い年間配当予想を修正いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

### 1. 業績予想の修正について

#### (1) 2023年3月期通期連結業績予想の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,000,000	250,000	150,000	38.32
今回発表予想(B)	10,900,000	360,000	155,000	39.59
増減額(B-A)	900,000	110,000	5,000	1.27
増減率	9.0%	44.0%	3.3%	3.3%
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	8,424,585	247,307	215,533	55.07

#### (2) 業績予想修正の理由

自動車業界は、半導体供給不足や原材料価格の高騰といった逆風を受け、厳しい経営環境が続いています。半導体供給不足及びコロナウィルス感染拡大によるサプライチェーンの混乱の状況は改善しつつあるものの、そのペースは当初の想定を下回るものであることから、当社は今年度の販売台数の見通しを400万台から370万台に引き下げました。

しかしながら、台数減や原材料価格高騰のマイナス影響以上に、昨今の為替相場が想定以上に円安水準で推移していることや、販売奨励金の低下・価格改定等による台当たりの収益の改善効果が大きいことから、売上高は9,000億円、営業利益は1,100億円、前回予想を上回る見込みです。

一方で、2022年10月11日に発表したとおり、当社はロシア市場からの撤退に伴い今年度に約

1,000 億円の特別損失の計上を見込んでおります。この影響で、親会社株主に帰属する当期純利益に関しては、前回予想からの増加が 50 億円にとどまっています。

## 2. 剰余金配当(中間配当)見送り及び年間配当予想の修正について

### (1) 剰余金配当(中間配当)の内容

	決定額	直近の配当予想 (2022年5月12日公表)	前期実績 (2022年3月期 中間配当)
基準日	2022年9月30日	同左	2021年9月30日
1株当たり配当金	0円00銭	未定	0円00銭
配当金総額	—	—	—
効力発生日	—	—	—
配当原資	—	—	—

### (2) 年間配当予想の修正

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想	未定	5円00銭	未定
今回修正予想		5円00銭	5円00銭
当期実績	0円00銭		
前期実績 (2022年3月期)	0円00銭	5円00銭	5円00銭

### (3) 剰余金配当(中間配当)の見送り及び年間配当予想の修正の理由

当社は、2022年5月12日に、今年度の中間配当に関しましては、著しく変動している外的要因により未定とさせていただく旨を発表いたしました。

上海ロックダウンの解除や半導体供給の改善を受け、生産及び販売は回復傾向にあります。それに伴い第2四半期の自動車事業キャッシュフローは2,066億円のプラスとなりましたが、生産制約によりマイナスとなった第1四半期のフリーキャッシュフローをカバーするには至りませんでした。下期も生産・販売の回復傾向は続く想定しているものの、半導体供給の回復ペースの遅れ、インフレーション、金利の上昇などのリスク要因を含め、不透明な外部環境が継続すると見込んでいます。

以上の状況を踏まえ、中間配当は見送らせていただくことといたします。

なお、期末配当は、2022年5月12日に発表したとおり、1株当たり5円を予定していますが、下期の利益や自動車事業フリーキャッシュフローの動向次第で、増額することも検討してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、ご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいており、リスクと不確実性を含んでいます。従いまして、今後の当社グループの事業領域を取りまく経済情勢、市場の動向、為替の変動等により、実際の業績が現状の見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

以 上